



レポート

大分大学経済学部 高大接続教育室

目 次

「高校生なるほどアイデアコンテスト 2017」を終えて.....	p. 1
コンテストの概要	p. 2
応募状況	p. 3
受賞一覧	p. 4
作品紹介	
グランプリ（1 作品）	p. 5
大分県教育委員会教育長賞（1 作品）	p. 6
大分合同新聞社賞（1 作品）	p. 7
優秀賞（2 作品）	p. 8
奨励賞（2 作品）	p.10
努力賞（2 作品）	p.12
大分大学 COC+賞（1 作品）	p.14
審査講評	p.15

■ 「高校生なるほどアイデアコンテスト 2017」を終えて

実行委員長 小笠原悟（大分大学経済学部教授）

2005 年度に始まった「高校生なるほどアイデアコンテスト」は今回で 13 回目を迎えました。第 1 回目に 10 校 34 件の応募で始まった同コンテストは、今回 24 校 1,168 件の応募があり、大分県内のみならず、九州各県、中国、四国地方の高校から合計 1,221 名の参加がありました。

今回、2 次審査を通過した 10 組が最終審査であるプレゼンテーションに挑みました。入賞作品のレベルは年々高くなっており、最終審査でも優劣をつけることがむずかしくなっています。これも高校生のみなさんが日頃から地域や社会に関心を持ち、問題解決に取り組もうとする姿勢の現れであるとともに、そうした能力を伸ばそうとする各高校の先生方のご協力の賜物でもあると考えております。

入賞作品には、グループで応募したものが多くみられました。1 人では考えつかないことでも、仲間同士で様々な考えを出し合えば、地域や社会でどんな問題や課題があるか見つけることができるかもしれません。そして時間をかけて議論しながら協働して作業するということは、他人の考えをよく理解し、物事をじっくり考える習慣をつけることにもなり、皆さんの将来にきっと役に立つでしょう。

今回のコンテストのまとめとして作成したこの冊子では、入賞作品について紹介しています。入賞したみなさんには、コンテストを振り返り、次のステップにつなげるきっかけとしていただければ何よりです。また、今回は入賞できなかった、応募しなかった、というみなさんには、今後の応募の参考にさせていただきたいと思っております。

これからも地域や社会に貢献するような様々なアイデアをお待ちしております。

■ コンテストの概要

高校生なるほどアイデアコンテスト（通称「なるコン」）では、2005 年度開催の初回以来、全国の高校生を対象に、ユニークなビジネスアイデアや地域づくりプランなどを募集してきました。通算 13 回目となる「なるコン 2017」は、以下のような要領で実施されました。

応募期間 平成29年8月17日(木)～9月14日(木) ※締切日必着
 最終審査会・表彰式 平成29年11月5日(日)大分大学にて
 応募資格 高校生(個人または5名以内のグループ)
 テーマ 以下の3つから1つを選択
 ※指定したテーマやその趣旨に沿っていない内容での応募作品は審査対象外

① 外国人観光客向けの新たな商品・サービス

昨年、日本を訪れた外国人観光客は過去最高の約 2,404 万人を記録しましたが、政府は、観光を成長戦略の柱の1つと位置付けて、2020 年にはこれを 4,000 万人にする目標を立てています。こうした目標の実現には、ビザ緩和などの入国管理政策だけでなく、外国人観光客向けの新たな商品・サービスの開発が求められています。

② 地域資源(ひと、もの、情報、特性)の掘り起こしと活用でイノベーション

何かを始めるとき考えることは何ですか？ 持っているもので使えるものを探しませんか？ 既に存在する地域のもつ資源を活用することで、新しいものや考え方を生み出しませんか？ そうすることで地域の特徴をこれからも継承し続け、さらによりよい未来を作っていきます。

③ 子育て世代に役立つアイデア・サービス

昨今の少子化を解消するうえで、子育てしやすい環境づくりをどのようにつくっていくかについて、保健福祉・教育・労働・移動環境・住環境など、様々な分野で解決しないといけない問題が山積しています。

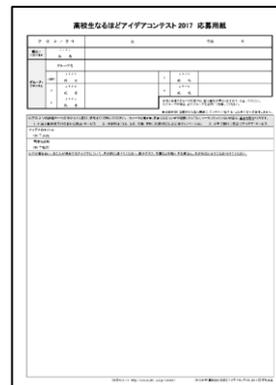
こういった子育て世代がより「子育てしやすい」ようになるため、必要とされるものはまだまだたくさんあります。自由な発想で、今後皆さんが子育て世代になったときに「あると便利な」アイデアを提案してください。

応募方法 「応募用紙」に必要事項を記入し、「応募用紙提出票」を添えて、送付または持参
 主催 大分大学「高校生なるほどアイデアコンテスト 2017」実行委員会
 (大分大学経済学部・大分県教育委員会・大分合同新聞社)
 後援 大分県商工会議所連合会・NHK 大分放送局・OBS 大分放送
 TOS テレビ大分・OAB 大分朝日放送・エフエム大分

募集チラシ



応募用紙



■応募状況

今回は、5 県 24 校から 1,168 件（前回：1,263 件）の応募がありました。受付後にチェックを行い、テーマの趣旨に沿っていないと判断された 166 件は審査対象外となったため、1 次審査は 1,002 件の作品を対象に行われました。また、20 件以上が 1 次審査の対象となった高校を、学校協力賞の対象としました。高校別の応募状況の詳細（件数順）は、以下のとおりです。

	都道府県	高校名		応募数		審査対象件数		
				(件)	(人)	1次	2次	最終
1	大分県	大分県立	大分商業高等学校	314	314	253	8	1
2	大分県	大分県立	佐伯豊南高等学校	246	246	216	3	
3	宮崎県	宮崎県立	延岡商業高等学校	180	180	162	3	
4	愛媛県	愛媛県立	今治北高等学校	80	80	72	3	
5	宮崎県	宮崎県立	都城商業高等学校	78	80	71	11	4
6	愛媛県	愛媛県立	宇和島東高等学校	77	77	72	1	
7	愛媛県	愛媛県立	松山商業高等学校	61	61	48	3	
8	宮崎県	宮崎県立	宮崎商業高等学校	30	55	27	1	
9	大分県	大分県立	日田三隈高等学校	30	30	22	1	
10	大分県	大分県立	情報科学高等学校	21	24	20		
11	宮崎県	宮崎県立	富島高等学校	16	20	12	1	
12	愛媛県	愛媛県立	土居高等学校	11	19	8	1	1
13	大分県	大分県立	別府翔青高等学校	5	7	5		
14	大分県	大分県立	宇佐産業科学高等学校	5	5			
15	宮崎県	宮崎県立	宮崎北高等学校	4	6	4	1	1
16	大分県	大分県立	由布高等学校	2	3	2	1	
17	大分県	大分県立	大分東高等学校	1	4	1	1	1
18	鹿児島県	鹿児島県立	市来農芸高等学校	1	3	1	1	1
19	宮崎県		宮崎第一高等学校	1	2	1	1	1
20	大分県	大分県立	日田高等学校	1	1	1	1	
21	岡山県	岡山県立	岡山東商業高等学校	1	1	1		
22	大分県	大分県立	大分西高等学校	1	1	1		
23	大分県	大分県立	安心院高等学校	1	1	1		
24	大分県		大分東明高等学校	1	1	1		
合 計				1,168	1,221	1,002	42	10

全応募 1,168 件を学年別に見てみると、1 年生 680 件(58.2%)、2 年生 268 件(22.9%)、3 年生 215 件(18.4%)、複数学年混在や記載なし 5 件(0.4%)となっています。また、個人応募は 1,148 件、グループ応募は 20 件でした。

今回新たに設けた 3 つのテーマ（p.1 参照）の選択状況を、審査対象となった 1,002 件について見てみると、「①外国人観光客向けの新たな商品・サービス」が 386 件(38.5%)、「②地域資源(ひと、もの、情報、特性)の掘り起こしと活用でイノベーション」が 108 件(10.8%)、「③子育て世代に役立つアイデア・サービス」が 421 件(42.0%)、記載なしが 87 件(8.7%)でした。

また、1 次審査を通過した 42 件では、①が 6 件(14.3%)、②が 9 件(21.4%)、③が 23 件(54.8%)、記載なしが 4 件(9.5%)となっており、さらに 2 次審査を通過して最終審査に残った 10 件では、①が 3 件、②が 4 件、③が 3 件でした。

■受賞一覧

グランプリ	
埋もれている「鹿児島」をイノベーション	鹿児島県立市来農芸高等学校 養鶏研究班（福満陽奈，山口あやめ，松本凜）
大分県教育委員会教育長賞	
汚泥再生化プロジェクト	大分県立大分東高等学校 the East spirit （小又拓斗，御手洗良兵，佐藤未来，田尻愛美）
大分合同新聞社賞	
Surround baby and mother ～子と母を包み込む社会の形成～	宮崎県立都城商業高等学校 TEAM 都商（岸良美波，萬徳あかり）
優秀賞	
育メンパパ育成アプリ	大分県立大分商業高等学校 相川美沙
空き家を利用した じいじ ばあばのレストラン	宮崎第一高等学校 てげいっちゃんが！（難波沙和，林麻璃）
奨励賞	
Capsule of memories ～素敵なお1日をあなたに～	宮崎県立都城商業高等学校 都商起業班（河野真凜，坊地未帆）
コンパクトになるベビーカーと荷物をおおうシート	宮崎県立都城商業高等学校 和田一華
努力賞	
新観光スタイル ～人をつなげる伝統文化～	宮崎県立宮崎北高等学校 奈須怜也
外国人観光客向け通訳ガイドサービスアプリ	宮崎県立都城商業高等学校 永友大晴
【審査委員特別賞】大分大学 COC+賞	
※大分大学 COC+推進機構は、平成 27 年度より文部科学省が支援する地方創生推進事業として大分県地域で実施されている「地域と企業の心に響く若者育成プログラムと大分豊穡化プラン」の事業を推進しています	
水引シリーズ第 2 弾『あいらび DX（デラックス）』	愛媛県立土居高等学校 伊予の水引ガールズ （井原千晴，宮崎真奈，近藤亜美，佐瀬唯菜，宮崎彩）

学校協力賞	
大分県立大分商業高等学校 (253 件)	大分県立佐伯豊南高等学校 (216 件)
宮崎県立延岡商業高等学校 (162 件)	愛媛県立今治北高等学校 (72 件)
宮崎県立都城商業高等学校 (71 件)	愛媛県立宇和島東高等学校 (72 件)
愛媛県立松山商業高等学校 (48 件)	宮崎県立宮崎商業高等学校 (27 件)
大分県立日田三隈高等学校 (22 件)	大分県立情報科学高等学校 (20 件)



グランプリ

選択テーマ：① 外国人観光客向けの新たな商品・サービス

埋もれている「鹿児島」をイノベーション

鹿児島県の天然記念物をPRするために高校生としてできる活動を行い、地域資源「薩摩鶏」でイノベーション

鹿児島県立市来農芸高等学校 養鶏研究班(福満陽奈, 山口あやめ, 松本凜)

高校生なるほどアイデアコンテスト 2017 応募用紙

学 校 名 / 学 年	鹿児島県立市来農芸高等学校 1 年		
個人で応募するか	氏 名	養鶏研究班	
グループで応募するか	グループ名	養鶏研究班	
1 代表者	氏 名	福満 陽奈	〒894-0292 鹿児島県市来市市来 1-1-1 市来農芸高等学校
2 副代表者	氏 名	山口 あやめ	〒894-0292 鹿児島県市来市市来 1-1-1 市来農芸高等学校
3 連絡係	氏 名	松本 凜	〒894-0292 鹿児島県市来市市来 1-1-1 市来農芸高等学校

以下の3つの課題テーマの中から1つを選び、最も得意と見込んでください。① 外国人観光客向けの新たな商品・サービス ② 地域資源(ひと、物、動物、特産)の活用した企画でイノベーション ③ 子育て世代に役立つアイデアサービス

埋もれている「鹿児島」をイノベーション

鹿児島県の天然記念物をPRするために高校生としてできる活動を行い、地域資源「薩摩鶏」でイノベーション

1. 課題の背景
鹿児島県に天然記念物に指定された「薩摩鶏」(学名: Gallus gallus var. domestica)は古くから民間に飼育されてきました。特に薩摩県薩摩郡志茂町の時代にその飼育無しの選別により当時の結果として宛人に飼育されていたそうです。その後も愛用して個人の家畜として飼育されてきたようですが、戦後は2回連続した農産物の増産政策によって私たちの生活から姿が薄れていきました。
実際に飼育している方も「薩摩鶏」がどのような動物なのかは天然記念物だからと多くは知らずでした。調べてみると毎年5月に鹿児島県立市来農芸高等学校で開催されるようすが毎年開催される方が減り、高齢化も進んでいるようです。平成29年5月現在の飼育頭数は全体で350羽程度となっています。
先日鹿児島県養鶏保存会の理事長さんにお会いして実際に薩摩鶏をみていただきお話を聞く機会がありました。「農業学校として私たちに飼育できますか?」と質問したところ、「まずは薩摩鶏の存在を知ってもらいたい。そして種の保存を目的として多くの人に薩摩鶏を飼育してもらいたい。」とのことでした。

2. どのような活動ができるのか?
しかし、実際に飼育するのは容易ではありません。最近では住宅の環境により餌を餌を飼うことで騒音の発生や臭いなどで近隣住民のトラブルになることもあります。また、ほとんどの飼育者は餌を餌として飼育して多くは知りません。飼育する上で大切なことは「飼育」(「飼育」)「飼育」の4要素があり、写真のようにその辺は大変複雑です。(3~4月の孵化期も美しいとされています) 餌は卵をつがひ、大腸菌の汚染や細菌の増殖として利用されています。
そこでこのような若年層からの関心を喚起するとともに女子高生としての視点を持って様々なアイデアや小機を作り、多くのことに役立つような商品やサービスを開発したいと考えています。今年一歩一歩のアイデアなどの商品などを通して地域のアイデアを分かち、またアイデアを通して商品を作ることで地域資源を知ってもらい、種を保存してもらおうと愛用動物としての認知度を上げていく。また、江戸やSNSを駆使し、薩摩鶏の普及を多く発信できる環境を作りたいと思っています。
本校には毎年小中学生や外部の方が多く来校されます。その際に薩摩鶏にも興味をもってもらうために、校内でも飼育用として飼育し、外部の方にいつでも見られるような環境づくりをしていければと思っています。

3. 解決すべき問題点
① 天然記念物の卵をつかひを販売することは可能か → 薩摩鶏保存会の理事長さんに確認したところ、「食肉として販売することは禁止されている卵を販売した商品は罰金10万円以内」とのことでした。
② 飼育する前に注意すべき点 → 薩摩鶏は生後1週間とろろであるため、外部に向けての販売の場合は注意が必要。(動物園なども手袋を取り入れる必要がある。飼育から販売へ) また、この飼育、卵に必要と高病原性インフルエンザの発生により防疫体制を確立する必要があります。

4. 展望
日本全国で女子高生が活躍しているという地域に支那の種の保存はこれら私たちが取り組むべき重要な課題です。「種の保存」を議題とし、鹿児島県には天然記念物の材料として、活用の材料となりそれが地域の特色として発信していければと思います。

応募作品

埋もれている「鹿児島」をイノベーション

はじめに

薩摩鶏の時代には職能として個人に飼育

生物にアンケート

新着情報グループの活動の中心

2. 活動の実際

3 解決すべき問題点

発表資料

発表資料

発案の経緯、アイデアの概略など

普段からさまざまなプロジェクト活動を行っている中で、天然記念物である「薩摩鶏」の認知度が低く、愛好家の減少＝飼育羽数の減少、という現状を知った。そこで、高校生でも何かできないか先生とも話し合いながら、PR 活動の手段を考え、手軽にできるキーホルダー作りで普及・啓発活動を実践しようと考えた。

苦労や工夫など

キーホルダー作りは初めてだったため、試作品を作る段階からかなり苦労したが、手探り状態でやっと完成させることができた。

また、ただ作るだけでなく、原価計算をもとに販売価格を設定することにしたが、生産や流通について学ぶ「農業経営」の授業はまだ受けていなかったため、先生に聞きながら計算した。

アピールポイント

薩摩鶏の種の保存を目的としていること。

そのために綺麗な羽根を使って認知度を上げていきたいということ。

その他

今回の受賞で、より多くの方々に薩摩鶏を知ってもらえて嬉しい。

このコンテストをきっかけに活動メンバーを増やして、本格的に普及・啓発活動をしていきたい。



大分県教育委員会教育長賞

選択テーマ：② 地域資源（ひと、もの、情報、特性）の掘り起こしと活用でイノベーション

汚泥再生化プロジェクト

私たちが排出した下水汚泥を肥料として再利用することで、食糧生産と環境保全に役立つと考える。

大分県立大分東高等学校 the East spirit(小又拓斗, 御手洗良兵, 佐藤未来, 田尻愛美)

高校生なるほどアイデアコンテスト 2017 応募用紙

個人名	氏名	グループ名	the East spirit
グループメンバー	1. 小又拓斗 2. 御手洗良兵 3. 佐藤未来 4. 田尻愛美	学校名	大分県立大分東高等学校

課題の要約
汚泥再生化プロジェクト
 私たちが排出した下水汚泥を肥料として再利用することで、食糧生産と環境保全に役立つと考える。

1. はじめに
 私たちの地域では必要不可欠な資源です。では、その活用はどのように進められるのでしょうか。福岡、大分市は下水汚泥の処理量は、全国的に多い地域です。下水汚泥は、堆肥や飼料などに利用されています。しかし、堆肥や飼料として利用するだけでは、温室効果ガスの発生を抑えられず、環境問題が深刻化しています。そこで、下水汚泥を堆肥化して再利用することで、温室効果ガスの削減と植物の成長や用土として物質循環に利用することを考えました。このアイデアは既に実現していますが、研究や実験の過程で臭気や周辺への臭いなどが発生し、近郊農業では使用できないため、臭気制御とペレット化をオリジナルテーマとして研究を始めた。

2. アイデアの発想
 汚泥の処理を考えたときに、臭気や周辺への臭いなどが発生し、近郊農業では使用できないため、臭気制御とペレット化をオリジナルテーマとして研究を始めた。

3. 今後の展望
 課題研究や放課後の時間を利用して、大分市内の企業との共同研究を進めている。私たちのアイデアが、大分市の下水の有効利用、ふるさとの海や川の環境改善、さらに汚泥ペレット堆肥による収益につなげることができればと考えている。

応募作品

大分市 汚泥再生化プロジェクト

1. はじめに 生活 必要不可欠 水

大分市の下水 下水の62% 大分市の水資源再生センター

微生物によって 生物処理されている。 年間で2,628トンの温室効果ガスが発生 灰分処理 セメント原料などに利用される

脱水土泥 燃焼 堆肥

活性汚泥の堆肥化 堆肥化することメリット
 ・温室効果ガスの削減 (二酸化炭素の抑制)
 ・植物の栄養素としての利用 (堆肥に含まれる栄養素の有効利用)

2. 活性汚泥の堆肥化 熊本県 栄城大学 納豆菌 (ノドコウ) 光合成細菌 高活性汚泥

研究の流れ (1) 汚泥と微生物 光合成細菌 + 納豆菌

(2) 微生物の住地として本校で設置した6㎡の発酵床を築く 投入割合 (管理割合) (初期: 10%発酵後: 10%) 発酵後の臭気から汚泥と行方不明の臭気抑制の割合の検討

(3) 食品資源リサイクル機構 マンゴ、パイナップルを培養 培養時間 (温度) と菌数の検討

(4) 肥料化し下水汚泥の処理 ~河川のペレット化の検討~

(5) 汚泥肥料の植物に与える影響の調査 (生育観察等)

3. 今後の展望 大分市 グリーン・ジュニア 大分東高等学校

3. 今後の展望 大分県 大分市 大分市水資源再生センターでのイザミイモの収穫作業

発表資料

発案の経緯、アイデアの概略など

私たちが生活する中で排出した下水の汚泥は、脱水・燃焼させて灰分化することでセメントなどの原料として使用しているが、燃焼により多くの温室効果ガスが発生する。そこで、燃焼ではなく堆肥化することで、温室効果ガスの削減と植物の成長や用土として物質循環に利用することを考えた。既に国内での実現例もあるアイデアではあるが、堆肥化の過程で臭気が周囲に漏れることや、堆肥として散布した際の臭いとホコリとで、近郊農業では使用できないため、臭気制御とペレット化をオリジナルテーマとして研究を始めた。

今後の展望

課題研究や放課後の時間を利用して、大分市内の企業との共同研究を進めている。私たちのアイデアが、大分市の下水の有効利用、ふるさとの海や川の環境改善、さらに汚泥ペレット堆肥による収益につなげることができればと考えている。



優 秀 賞

選択テーマ：③ 子育て世代に役立つアイデア・サービス

育メンパパ育成アプリ

最近、女性も社会進出し、男性が子育てをする場面もふえているので、子育てにあまりなれていない男性の家事スキル向上のためのアプリです。

大分県立大分商業高等学校 相川美沙

高校生なるほどアイデアコンテスト 2017 応募用紙

学校名 / 学年	大分県 立	大分商業高等	学校	3 年	
個人 / 所属名	おんづの めで				
氏名	相川 美沙				
グループ名					
グループ / 所属の番号	1	氏名		2	氏名
	3	氏名		4	氏名
	5	氏名			
	6	氏名			

以下の3つの課題テーマの中から1つ選定し、番号をのびで記入し、選定した課題テーマの番号を記入してください。選定した課題テーマは、審査の対象となります。

1. 外国人観光客向けの新たな観光サービス 2. 地域資源(ひと、もの、情報、特性)の活用(観光インバウンド) ③ 子育て世代に役立つアイデア・サービス

アイデアのタイトル
(90文字以内)
育メンパパ育成アプリ

課題の説明
(90文字以内)
最近、女性も社会進出し、男性が子育てをする場面もふえているので、子育てにあまりなれていない男性の家事スキル向上のためのアプリです。

以下の欄を埋め、あなたが提案するアイデアについて、具体的に図や写真、写真などを添付する場合は、別紙に貼り付けてください。

アイディア

説明

(1) 家事スキル向上のためのアプリを開発し、男性が子育てをする場面もふえているので、子育てにあまりなれていない男性の家事スキル向上のためのアプリです。

(2) 家事スキル向上のためのアプリを開発し、男性が子育てをする場面もふえているので、子育てにあまりなれていない男性の家事スキル向上のためのアプリです。

(3) 家事スキル向上のためのアプリを開発し、男性が子育てをする場面もふえているので、子育てにあまりなれていない男性の家事スキル向上のためのアプリです。

あなたの「育児宣言」
応援します!!!!

相川 美沙
<http://ikumen-project.nhk.jp>

発表資料

応募作品

発案の経緯、アイデアの概略など

女性の社会進出により、男性が育児をする場面も増えたが、子育てに悩む男性が私の母に相談している姿を見かけたことをきっかけに、男性がスムーズに育児できるよう、細かな作業や知りたいことがわかるアプリを考えた。

苦労や工夫など

子育てを経験したことがないので、何が大切なのか、何があると便利なのかはわからなかった。

実際に子育て経験がある男性や父から話を聞く事で、問題点と改善点を考え、イラスト入りのわかりやすい説明を考えた。

アピールポイント

パートナーである女性と子どもについての記録をのこせたり、連絡をとりあう事ができるので、共通理解を図ることができる



奨 励 賞

選択テーマ：① 外国人観光客向けの新たな商品・サービス

Capsule of memories ～素敵な1日をあなたに～

心に残る1日を都城市で過ごしてほしいという願いから、都城市の魅力をかプセルに詰め込みました。

宮崎県立都城商業高等学校 都商起業班(河野真凜, 坊地未帆)

高校生なるほどアイデアコンテスト2017 応募用紙

学校名(漢字)	宮崎県立都城商業高等学校	種別	私
個人名(漢字)	長 兵	グループ名	都商起業班
グループ名(漢字)	メンバー 河野 真凜 坊地 未帆	担当	河野 真凜
グループ名(カタカナ)	メンバー カニノ マコト バチチ ミホ	担当	カニノ マコト
グループ名(ローマ字)	メンバー KANO Makoto BATACHI Mihoko	担当	KANO Makoto

応募作品の概要とアイデアコンテストの目的、審査基準、応募方法、お問い合わせ先などの情報が記載されています。

応募作品

Capsule of memories ～素敵な1日をあなたに～

「ガチャガチャを使ったPR大作戦！」

PRできる！ SNS

① 体験コース(チケット)

② 商品入り

③ スタンプラリーコース

QRコード

発表資料の構成と内容が示されています。

発表資料

発案の経緯、アイデアの概略など

地方を訪れる外国人観光客が少ないことを受け、私達が住む都城市の伝統工芸品や観光地を外国人に触れてもらい、かつPRするために考えた「ガチャガチャを使ったPR大作戦」

苦労や工夫など

自分たちで考えたアイデアをどのようにしたら分かりやすく伝えることができるかを試行錯誤した。

アピールポイント

カプセル(3種類)の内容

- ① チケット付き体験コース
- ② 民芸品が入った商品入りコース
- ③ スタンプラリーコース



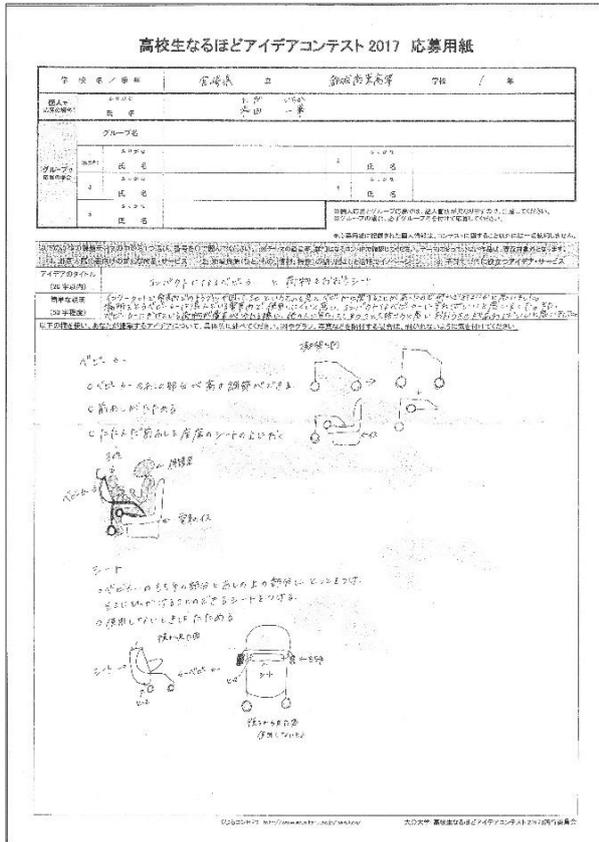
奨 励 賞

選択テーマ：③ 子育て世代に役立つアイデア・サービス

コンパクトになるベビーカーと荷物をおおうシート

インターネットで電車内でのトラブルや困ったことというのを見て、ベビーカーに関することがあったので、何かできないかと思いました。場所をとるベビーカーは混んでいる電車内で使用しにくいと思い、コンパクトなベビーカーにすればいいと思いました。また、ベビーカーにかけている荷物が、電車が揺れる際に他の人に当たってしまうことを防ごうと思い、おおうものがあればいいと思いました。

宮崎県立都城商業高等学校 和田一華



応募作品



発表資料

発案の経緯、アイデアの概略など

インターネットで、電車内でのベビーカースペースの設置に関する記事を読み、他にも子育てに役立つアイデアがあるのではないかと思います、混んでいる電車内でも使用しやすいように、座席に乗せられるベビーカーと、電車が揺れたときに荷物が人に当たるのを防ぐシートを考え付いた。

苦労や工夫など

提案する機能が分かりやすく説明できるよう、工夫してベビーカーの絵を描いた。

アピールポイント

電車の座席の高さや自動改札の幅などを調べた上で、座席に乗せることのできるベビーカーを提案。



努力賞

選択テーマ：① 外国人観光客向けの新たな商品・サービス

新観光スタイル ～人をつなげる伝統文化～
 伝統工芸を活用した外国人観光客の興味を引く新しい観光がここに！
 地域産業の活性化も可能な革新的プラン！！

宮崎県立宮崎北高等学校 奈須怜也

高校生なるほどアイデアコンテスト 2017 応募用紙

学校名/学年	宮崎県 立 宮崎北 高校 3年
個人/グループ	氏名 奈須 怜也
グループ名	
1. 氏名	
2. 氏名	
3. 氏名	

アイデアの名称 **新観光スタイル ～人をつなげる伝統文化～**

概要/内容 **伝統工芸を活用した外国人観光客の興味を引く新しい観光がここに！地域産業の活性化も可能な革新的プラン！！**

目的/意義 **外国人観光客向けの新たな商品・サービス 2. 伝統工芸を活用した外国人観光客の興味を引く新しい観光がここに！地域産業の活性化も可能な革新的プラン！！**

実行計画 **大分県には温泉や竹細工など、大分県を代表する観光資源がある。この大分県を代表する2つを組み合わせることで、今までにない観光ツアーが生まれるのではないかと考えた。**

実行計画 **ツアー参加者に竹細工への興味を持ってもらえるよう、バスでの移動中や宿での休憩中などの時間を利用した簡単な竹細工作りを体験する機会を作る。ボランティアや地域の子供達にも参加してもらうことにより、世代間の交流や、伝統工芸技術の継承者発見、外国人観光客との異文化交流などの実現を図る。**

効果/利益 **大分県には温泉や竹細工など、大分県を代表する観光資源がある。この大分県を代表する2つを組み合わせることで、今までにない観光ツアーが生まれるのではないかと考えた。**

実行計画 **ツアー参加者に竹細工への興味を持ってもらえるよう、バスでの移動中や宿での休憩中などの時間を利用した簡単な竹細工作りを体験する機会を作る。ボランティアや地域の子供達にも参加してもらうことにより、世代間の交流や、伝統工芸技術の継承者発見、外国人観光客との異文化交流などの実現を図る。**

応募作品



発表資料

発案の経緯、アイデアの概略など

別府、由布院、観海寺、鉄輪など、大分県にはたくさんの温泉があり、竹細工という伝統工芸品がある。この大分を代表する2つを組み合わせることで、今までにない観光ツアーが生まれるのではないかと考えた。

ツアー参加者に竹細工への興味を持ってもらえるよう、バスでの移動中や宿での休憩中などの時間を利用した簡単な竹細工作りを体験する機会を作る。ボランティアや地域の子供達にも参加してもらうことにより、世代間の交流や、伝統工芸技術の継承者発見、外国人観光客との異文化交流などの実現を図る。



努力賞

選択テーマ：① 外国人観光客向けの新たな商品・サービス

外国人観光客向け通訳ガイドサービスアプリ

自宅に待機するご当地通訳がスマホの facetime を経由して、リアルタイムで外国人観光客に対するガイドサービスを行う

宮崎県立都城商業高等学校 永友大晴

高校生なるほどアイデアコンテスト 2017 応募用紙

学 校 名 / 学 年	宮 崎 県 立 都 城 商 業 高 等 学 校	学 年	1 年 級	学 科	商 務 科
個人名 氏名	永 友 大 晴				
グループ名					
グループメンバー					
1	姓 名	2	姓 名	3	姓 名
4	姓 名	5	姓 名	6	姓 名

※本選用紙は応募されたアイデアの権利を本校に譲渡する旨の記載があります。また、本選用紙に記載されたアイデアは、本校が主催する各種コンテスト等に優先的に採用される権利を本校に譲渡するものとします。

アイデアの概要
外国人観光客向けの通訳ガイドサービスアプリを開発し、スマートフォンを通じて外国人観光客と通訳ガイドを繋ぐ。通訳ガイドは自宅に待機し、外国人観光客のスマートフォンから通訳ガイドのスマートフォンへ通話を行い、リアルタイムで通訳ガイドサービスを行う。

発案の経緯
自分が海外で暮らしていた際にとっても苦勞した経験から、日本に来た外国人もそうなのではないかと思い、外国人観光客に対して、スマートフォンのアプリを通してご当地通訳が行うガイドサービスを考え付いた。

アピールポイント
外国人観光客に、ストレス無く観光してもらえるという点。

発表資料

応募作品

発案の経緯、アイデアの概略など

自分が海外で暮らしていた際にとっても苦勞した経験から、日本に来た外国人もそうなのではないかと思い、外国人観光客に対して、スマートフォンのアプリを通してご当地通訳が行うガイドサービスを考え付いた。

アピールポイント

外国人観光客に、ストレス無く観光してもらえるという点。



■ 審査講評

審査委員長 本谷るり（大分大学経済学部教授）

13回目を迎えた「高校生なるほどアイデアコンテスト 2017」は、2017年11月5日(日)に最終審査会を開催し、各賞が決定しました。今年度のコンテストにご参加いただいた高校生のみなさん、ありがとうございました。そして、受賞なさったみなさん、おめでとうございます。また、各高校の先生方、保護者のみなさま、ご指導ご協力いただき誠にありがとうございました。

今年度より募集テーマを3つ設け①外国人観光客向けの新たな賞品・サービス、②地域資源(ひと、もの、情報、特性)の掘り起こしと活用でイノベーション、③子育て世代に役立つアイデア・サービス)、1,168件(1,221人)と多数の応募をいただきました。テーマに沿った作品であるか否かを事前審査で確認した後、1次審査で42作品を選出し、2次審査ではその中から10作品に絞り、最終審査会でそれら10作品のプレゼンテーションをしていただきました。

今回の最終審査では、どの作品も優劣つけがたく審査が難航しました。その中でもグランプリに輝いたのは、鹿児島県立市来農芸高等学校養鶏研究班のみなさん(福満陽奈さん、山口あやめさん、松本凜さん)の「埋もれている「鹿児島」をイノベーション」という作品です。天然記念物である「薩摩鶏(さつまどり)」をPRし地域活性化を図るアイデアが発表されました。鹿児島県薩摩鶏保存会へ出向いて調査を実施して課題点を探り、女子高校生ならではのと言えるアクセサリーの制作や、高校での飼育の提案など、堅実な取り組みが高く評価されました。

大分県教育委員会教育長賞には、大分県立大分東高等学校の the East spirit のみなさん(小又拓斗さん、御手洗良兵さん、佐藤未来さん、田尻愛美さん)の「汚泥再生化プロジェクト」が選ばれました。汚泥を堆肥化するアイデアはたくさんありますが、その際に出る「においとほこり」という課題を克服しようとする研究発表で、いくつもの実験と検証を重ねているものです。アイデアはもちろんのこと、それを検証し結果を確認し、さらに改善を図って進めるという研究プロセスも高く評価されました。

大分合同新聞社賞には、宮崎県立都城商業高等学校の TEAM 都商のみなさん(岸良美波さん、萬徳あかりさん)の「Surround baby and mother ～子と母を包み込む社会の形成～」が選出されました。地域の子育て支援センターの協力を得てアンケート調査を実施し、子育て世代の方の現状と課題を把握した上で、乳児との外出時におけるサービス(授乳室やお湯の提供)を地域の企業にも協力してもらい提供するというアイデアです。これにより地域内での新たなつながりも期待できるという点が評価されました。

また、審査委員特別賞である大分大学 COC+賞には、愛媛県立土居高等学校の伊予の水引ガールスのみなさん(井原千晴さん、宮崎真奈さん、近藤亜美さん、佐瀬唯菜さん、宮崎彩さん)の「水引シリーズ第2弾『あいらびDX(デラックス)』」が選ばれました。このアイデアは第1弾がすでに商品化されていますが、それに満足せず、より多くの人を楽しみながら水引をつくることのできるよう改善提案がなされています。伝統工芸を伝承するという意味でも地域活性化に一役買うアイデアとして評価されました。

いずれのアイデアも、若い高校生のみなさんの素直な疑問であったり、みながよくなるにはどうすればよいか、といった実直な想いから出発しており、たいへん好感が持てるものでした。そして、思いつきにとどまらず、実態の調査をし、トライアンドエラーを繰り返して実現化にとっても近いところまできていると感じられるものばかりでした。コンテストは終了しましたが、今後、ぜひそれぞれのアイデアを実現化し、新たなビジネスや社会貢献につなげていってほしいと期待しています。また、今回1、2年生で参加なさったみなさんは、来年もぜひ新しいアイデアを持ってトライしてください。みなさんのチャレンジをお待ちしています！

大分大学経済学部 高大接続教育室
〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
TEL&FAX 097-554-8527
E-mail kodai-s@oita-u.ac.jp
URL <http://www.ees.ec.oita-u.ac.jp/gp/>